

食のリスクコミュニケーション・フォーラム2019

住民とのコミュニケーション
専門知見の伝え方

4月21日

小林 智之

日本学術振興会／福島県立医科大学

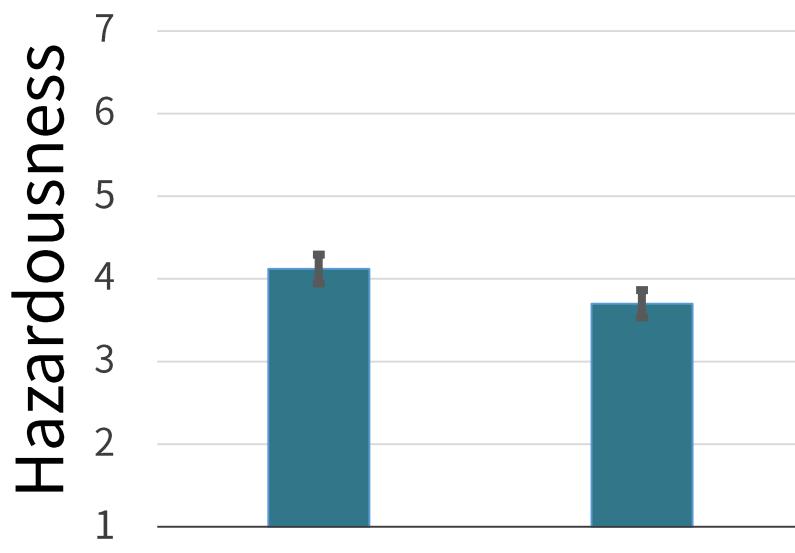
次の文章を声に出してお読みください

この食品にはマグナロキサートが入っています

この食品にはネグレペチヨロウムが入っています

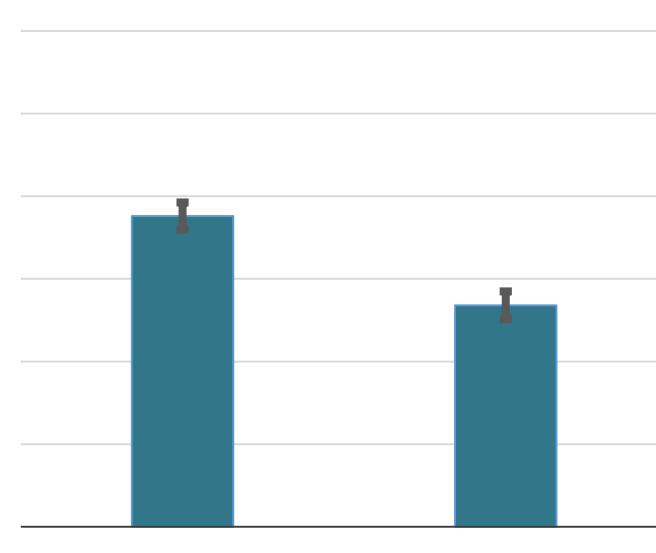
■ Song & Schwarz (2009) PS

発音の難しさと有害性の知覚



Study 1
N = 20

$d = 0.75$



Study 2
N = 15

$d = 2.00$

次の文章をお読みください

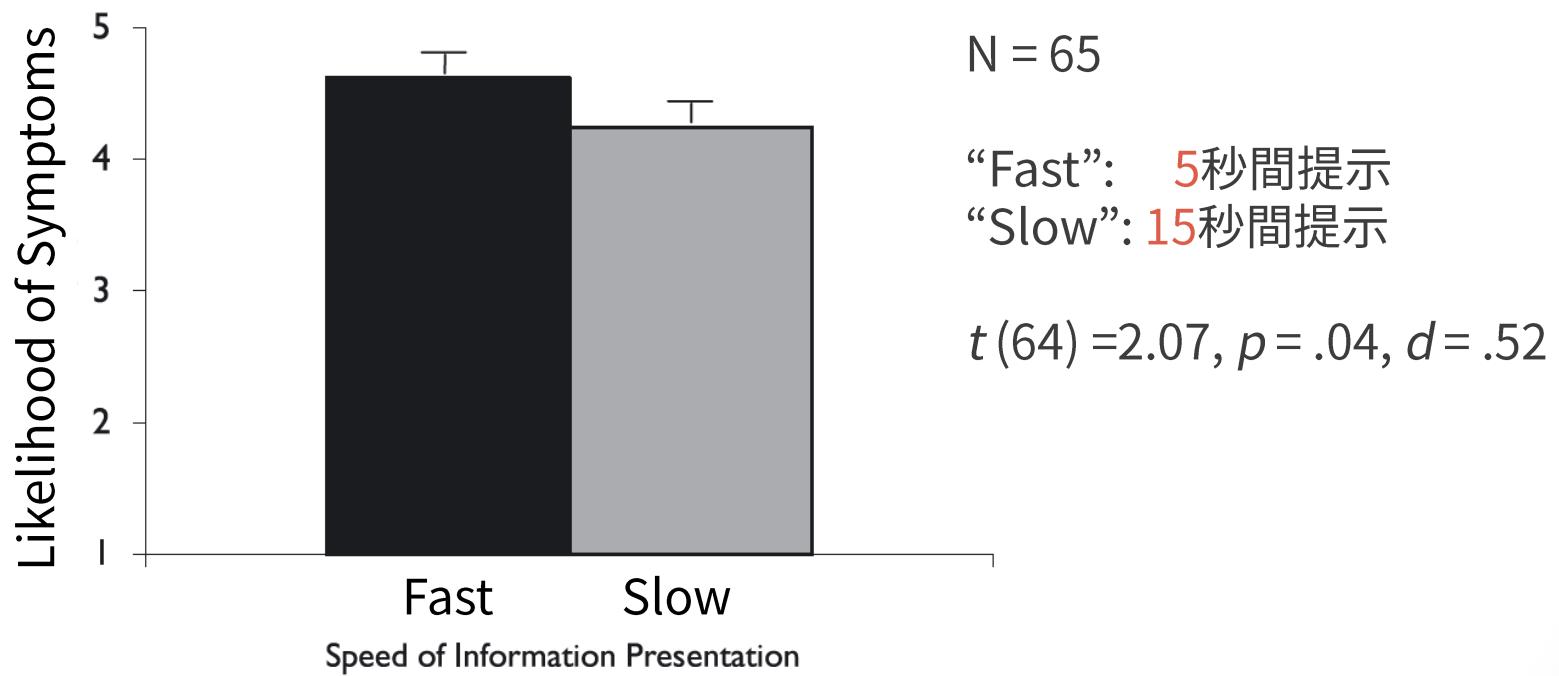
接着剤や防腐剤などに含まれるホルムアルデヒドは、パーティクルボードといった木質の建材に使用されている。

そのため、多くの住居や家具に含まれている可能性があるのだが、ホルムアルデヒドは、しばしば喘息の原因ともなり、その接触によりアレルギー反応やがんが発症する可能性もある。

(Environmental Protection Agencyより)

■ Lench & Flores (2012) Study 4 *BJSP*

提示の速さと起こりやすさの知覚



■ リスク付き意思決定のモデル

- 期待効用理論 (see Harless & Camerer, 1994)
 - あるリスクに対する対応は、その起こりやすさや価値から分析的に推し量られた自己への影響に基づき決定される。
 - リスクの起こりやすさや価値は、**客観的に**仮定される。

起こりやすさや価値は**主観的に**決定される
e.g., Hader & Fox, 2009; Rottenstreich & Hsee, 2001;
Kahneman, Ritov, & Schkade, 1999

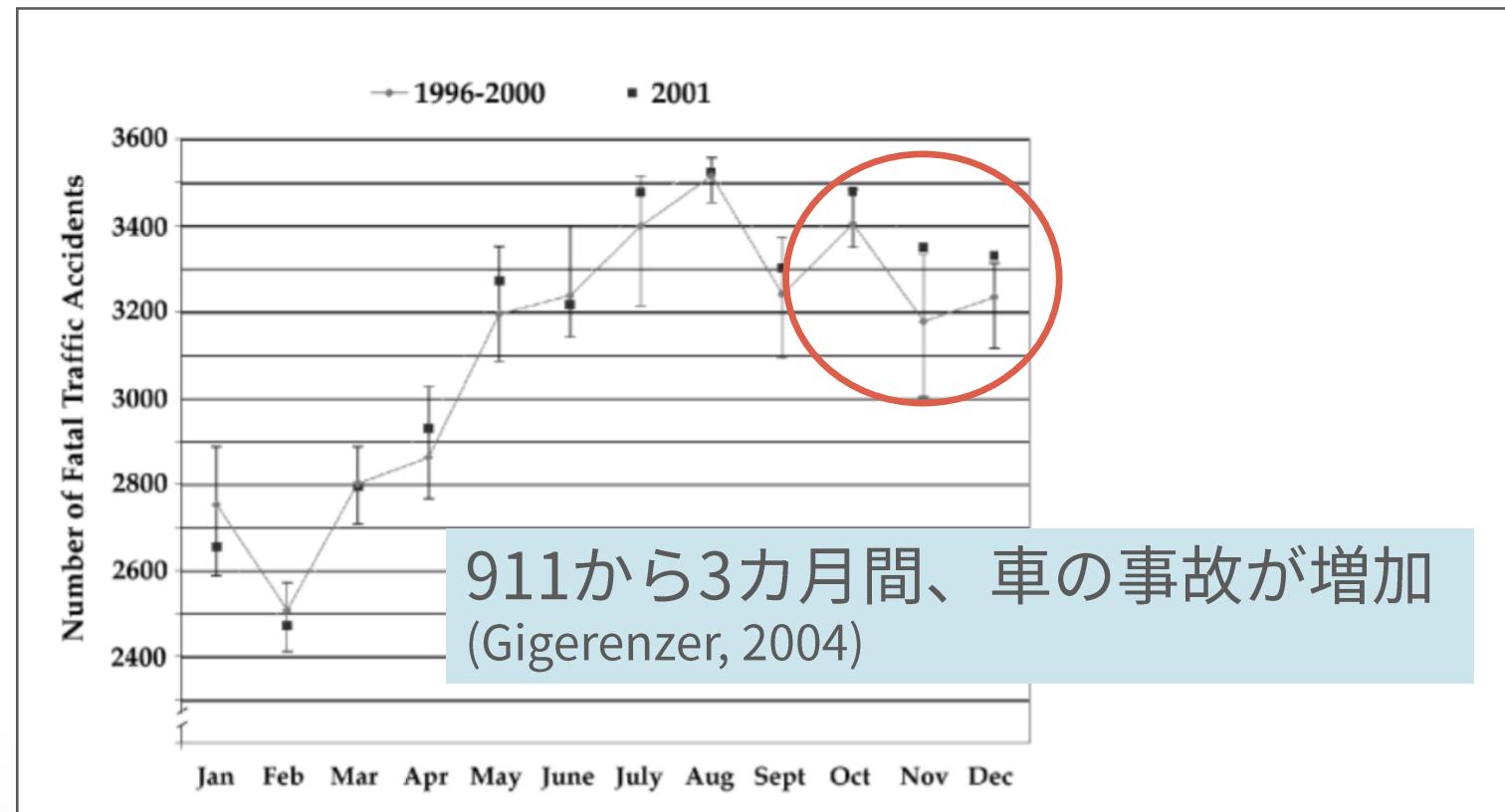
■ リスク付き意思決定のモデル

Risk-as-feelings approach (Loewenstein, Hsee, & Welch, 2001)

- リスクの評定には感情が影響する
(e.g., Johnson & Tversky, 1983; Slovic, 1999; Damasio, 2005)

■ リスク付き意思決定のモデル

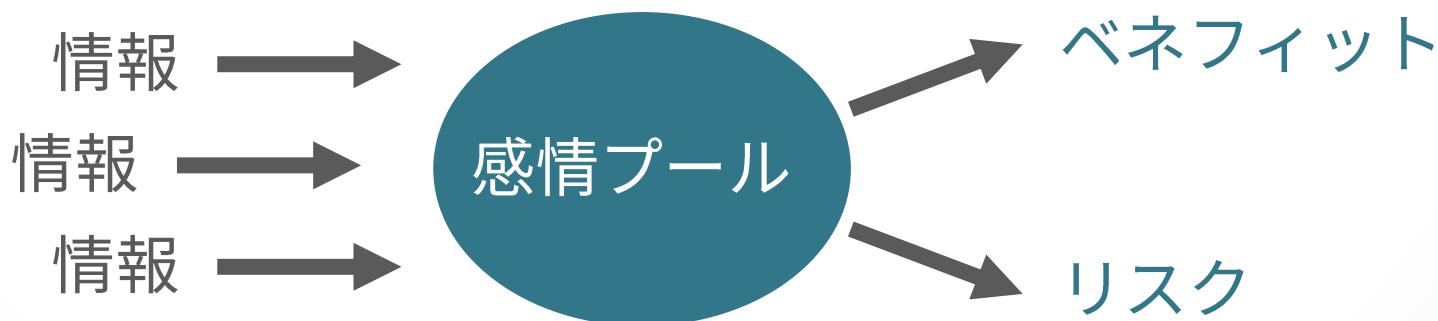
Risk-as-feelings approach (Loewensein, Hsee, & welch, 2001)



■ リスク付き意思決定のモデル

Risk-as-feelings approach (Loewensein, Hsee, & Welch, 2001)

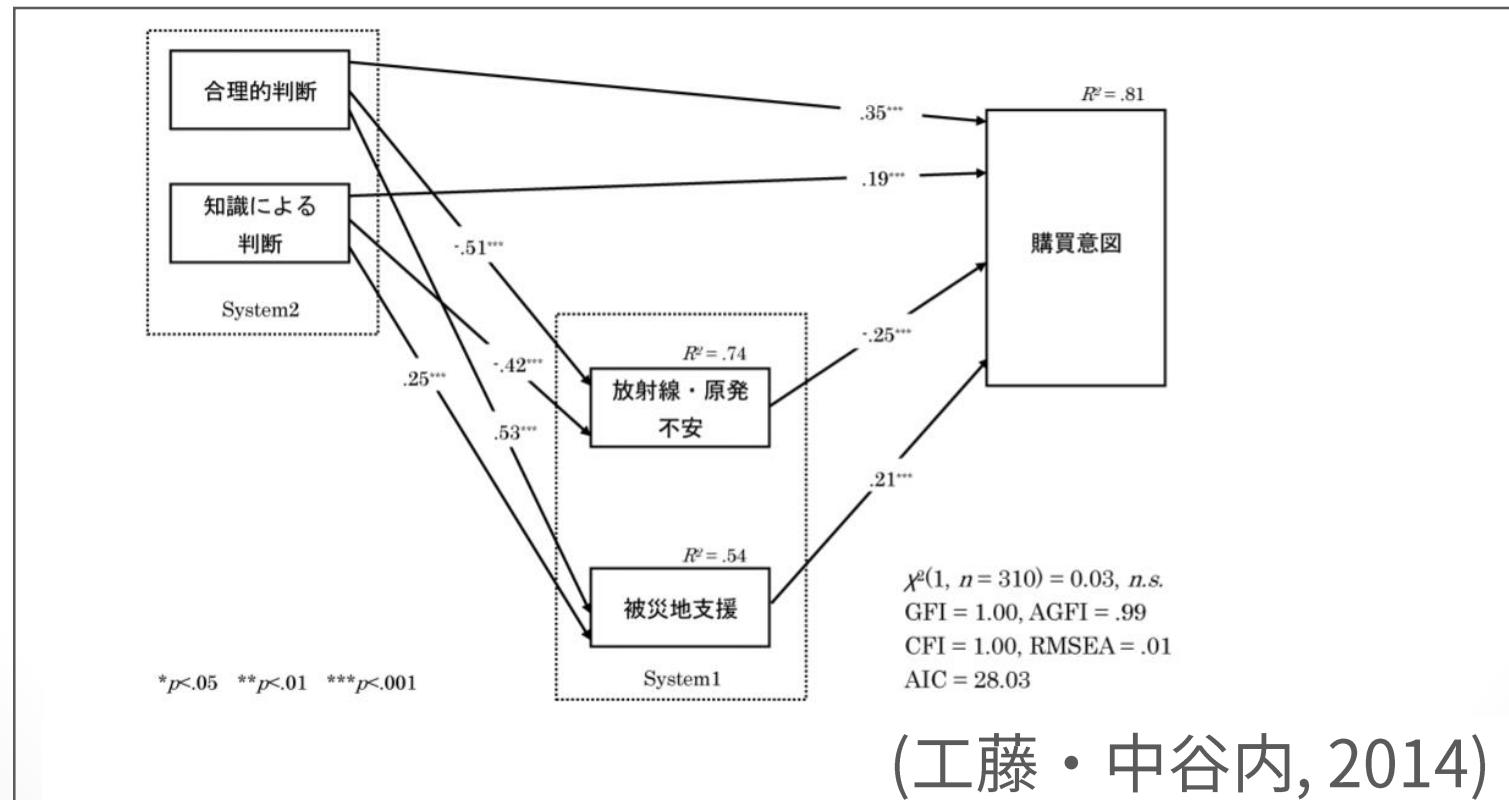
- 感情ヒューリスティック (Slovic, Finucane, Peters, & MacGregor, 2007)
 - ハザードのリスクやベネフィットは、評価者がそのハザードに対して抱くポジティブまたはネガティブな感情のプールにアクセスしながら判断される (Finucane, Alhakami, Slovic, & Johnson, 2000)



■ リスク付き意思決定のモデル

Risk-as-feelings approach (Loewensein, Hsee, & Welch, 2001)

- 感情ヒューリスティック (Slovic, Finucane, Peters, & MacGregor, 2007)



■ リスク付き意思決定のモデル

Risk-as-feelings approach (Loewensein, Hsee, & Welch, 2001)

- Familiarity-safety association (Song & Schwarz, 2009)
 - 親しみのない刺激は、親しみのある刺激よりも、**危険**と見られやすい (Song & Schwarz, 2009)
 - 認知処理の困難さは、人に考えることを疲れさせ、リスク認知を導いている (Slovic, Peters, Finucane, & MacGregor, 2000)
 - 認知処理の流暢さ：
接触頻度、図と地のコントラスト、フォントの大きさ、発音のしやすさ、簡単な表現など
(Reber, Schwarz, & Winkielman, 2004; Song & Schwarz, 2009)

■ 認知処理の流暢さ

- Kahneman (2011)

アドルフ・ヒトラーは1892年に生まれた

アドルフ・ヒトラーは1887に生まれた

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006)

Consequences of Erudite Vernacular Utilized
Irrespective of Necessity:
Problems with Using Long Words Needlessly

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006) Study 1 ACP
 - 手続き
 1. 英語文学の卒業研究のための願書を用意
 2. Microsoft Word 2000の類語辞典を用いて：
High Complexity: もっとも長い単語に変換
Moderate Complexity: 簡単な単語に変換
 3. 受け入れたい程度を評定

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006) Study 1 ACP

- High complexity

1) I desire to go to Graduate School so that I can learn to recognize literature satisfactorily. I want to investigate the character and the connotation of the narrative and its literary antecedents. I desire to comprehend what the narrative has represented in numerous literary periods, and what it is expected to become. I desire to investigate its numerous manners, realism, naturalism, and other approaches, and the Victorian and Modernist consciousness as they are discovered.

- Moderate Complexity

1) I want to go to Graduate School so that I can learn to recognize literature well. I want to explore the character and the meaning of the novel and its literary antecedents. I desire to understand what the novel has represented in different literary periods, and what is likely to become. I desire to explore its different manners, realism, naturalism and other modes, and the Victorian and Modernist consciousness as they are revealed.

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006) Study 1 ACP

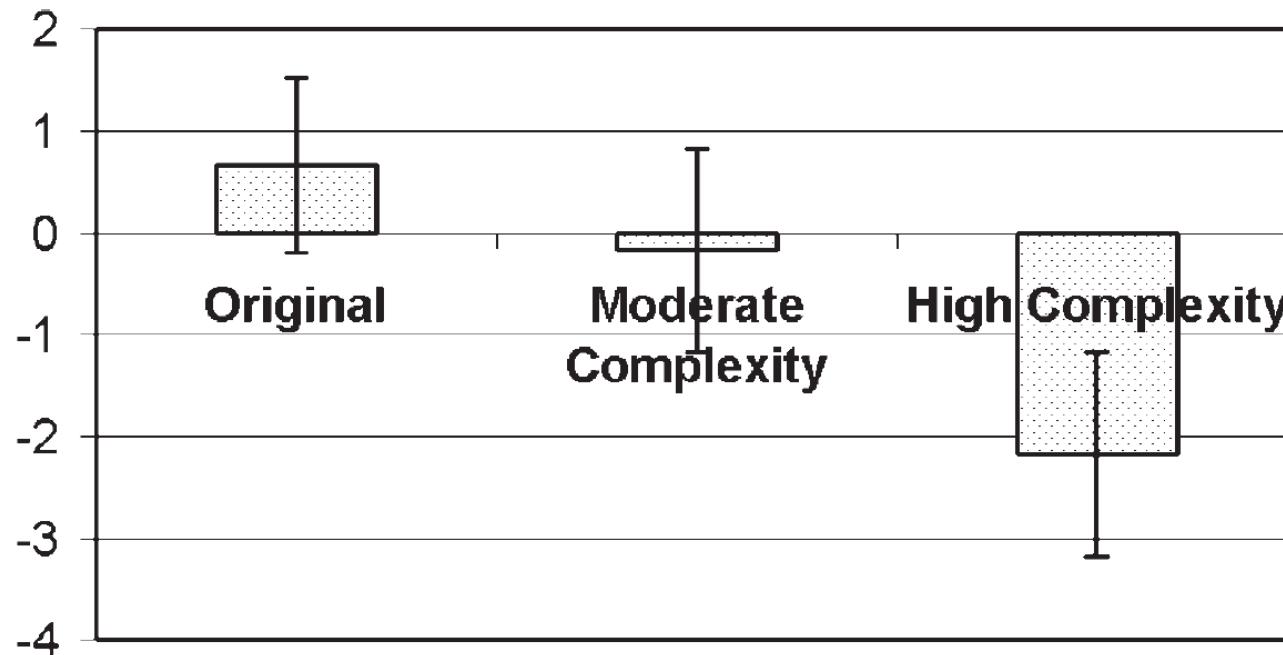


Figure 1. Acceptance ratings (on a -7 to 7 scale) for each level of complexity

$$F(2, 70) = 2.46, p < .05, \text{Cohen's } f = 0.12$$

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006) Study 1 ACP

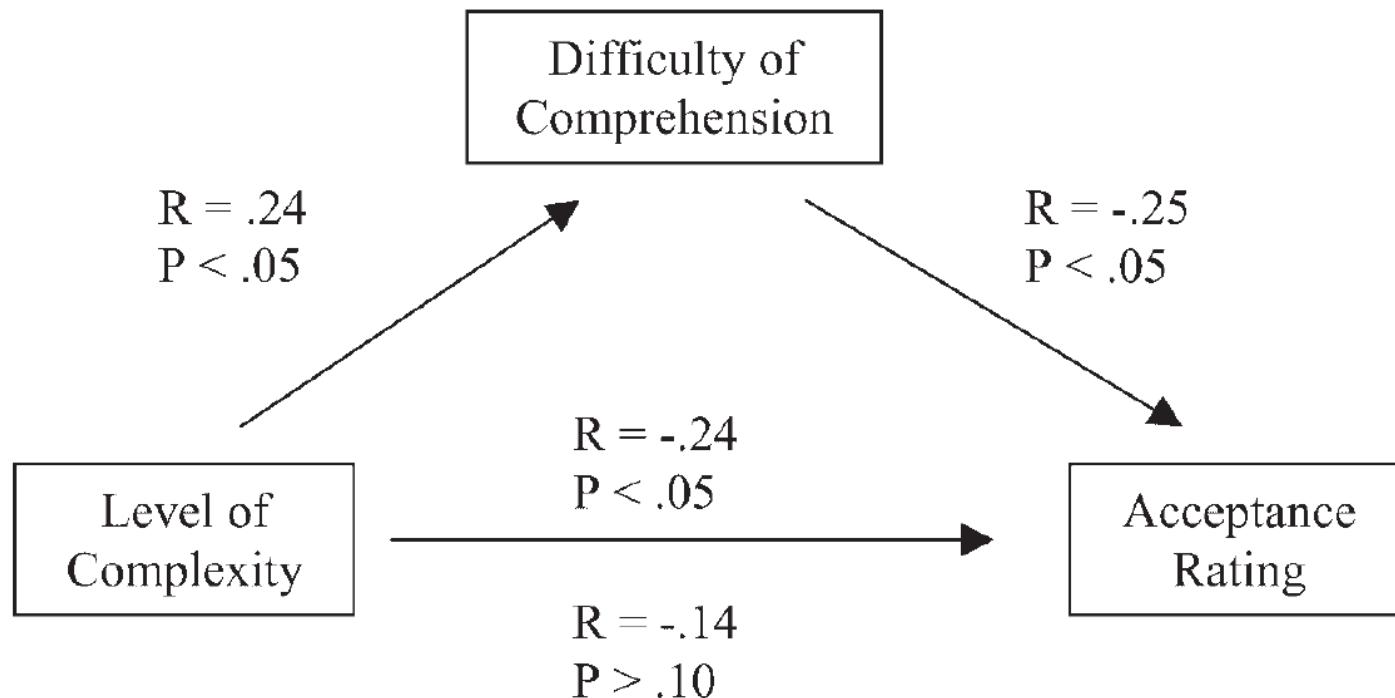


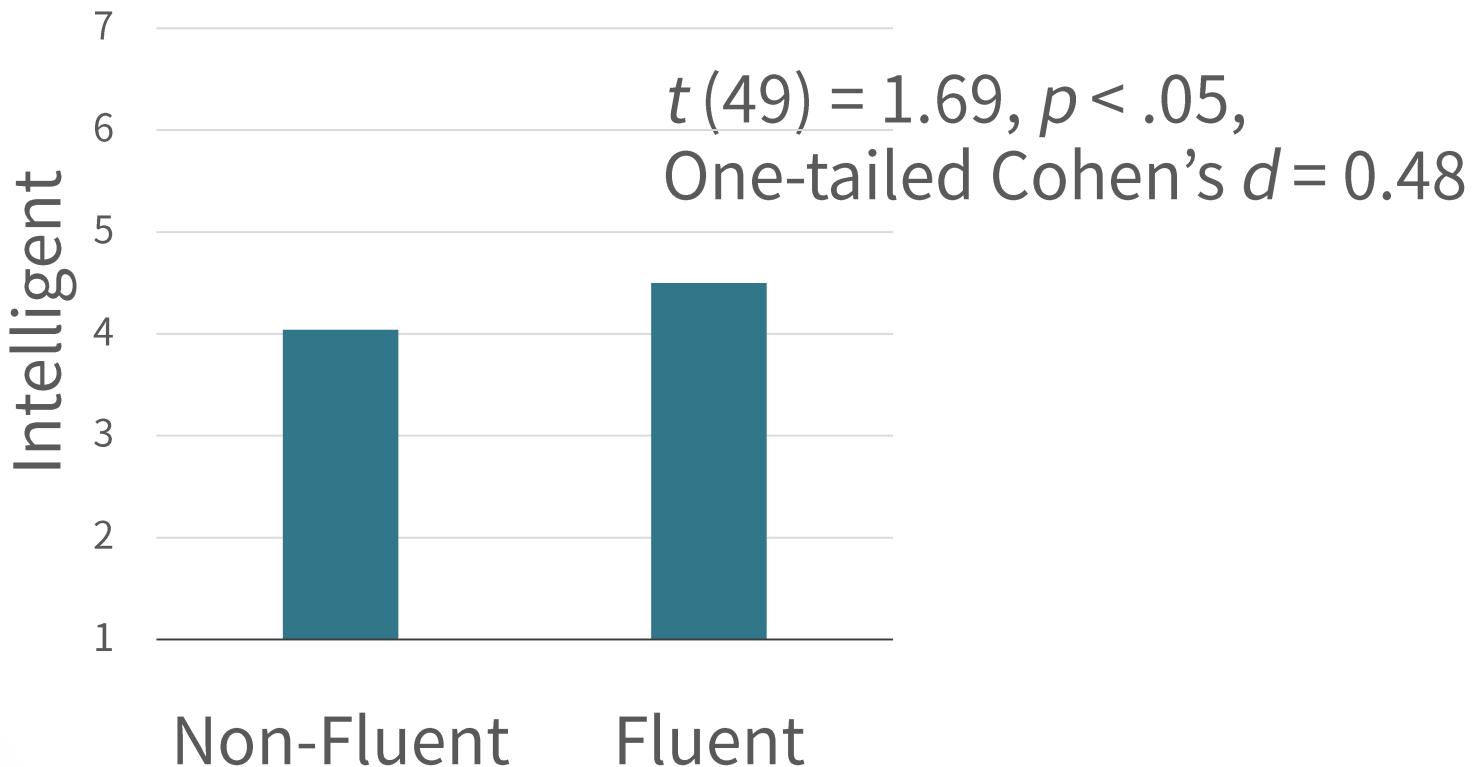
Figure 2. Mediation analysis in Experiment 1

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006) Study 4 ACP
 - 手続き
 1. Study 1で用いたオリジナル願書を再度使用
 2. Non-fluent: Juice ITCに変換
Fluent: Time New Romanに変換
 3. 頭の良さを評定

■ 認知処理の流暢さ

- Oppenheimer (2006) Study 4 ACP

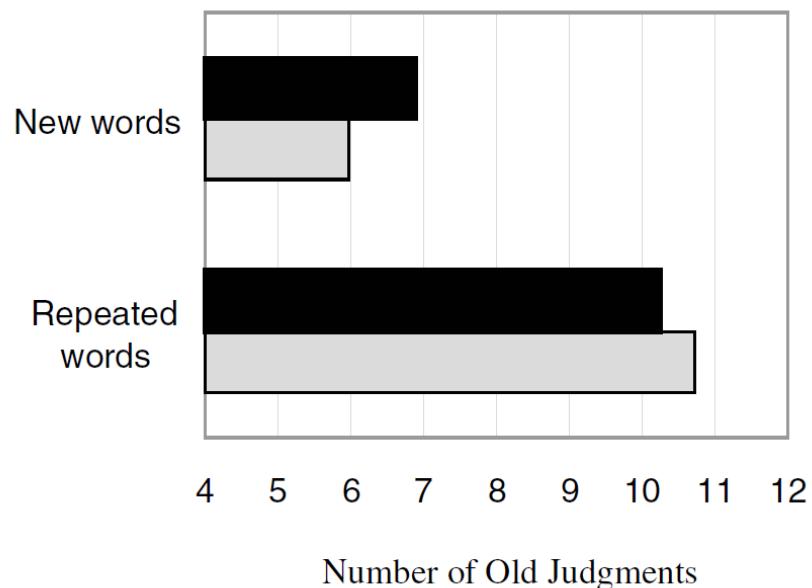


■ 認知処理の流暢さ

- Garcia-Marques, Mackie, Claypool, & Garcia-Marques (2004) Study 2 PSPB
 - 手続き
 1. 30個の単語を1秒ずつ提示
 2. フィラー課題（ヨーロッパ国名ゲーム）
 3. 再認課題
 - 30個の同じ単語と30個の新規の単語
 - 半数は**happy face (☺)** をプライミング
もう半数はただのcircle (○)をプライミング

■ 認知処理の流暢さ

- Garcia-Marques, Mackie, Claypool, & Garcia-Marques (2004) Study 2 PSPB



■ Positive priming
□ Neutral priming

Happy faceがプライムされると、新規の単語にすら、馴染みがある感覚を持ちやすくなる

Figure 1 The impact of positive compared to neutral priming on recognition of repeated and novel words, Experiment 2.

■ 認知処理の流暢さ

- 流暢さの落とし穴

- 刺激の流暢さは「親しみ」によるリスク認知のポジティブ化を引き起こす可能性もあるので注意・・・それでも、

刺激の流暢さは、メッセージを理解するための認知的な余裕を残しやすい。

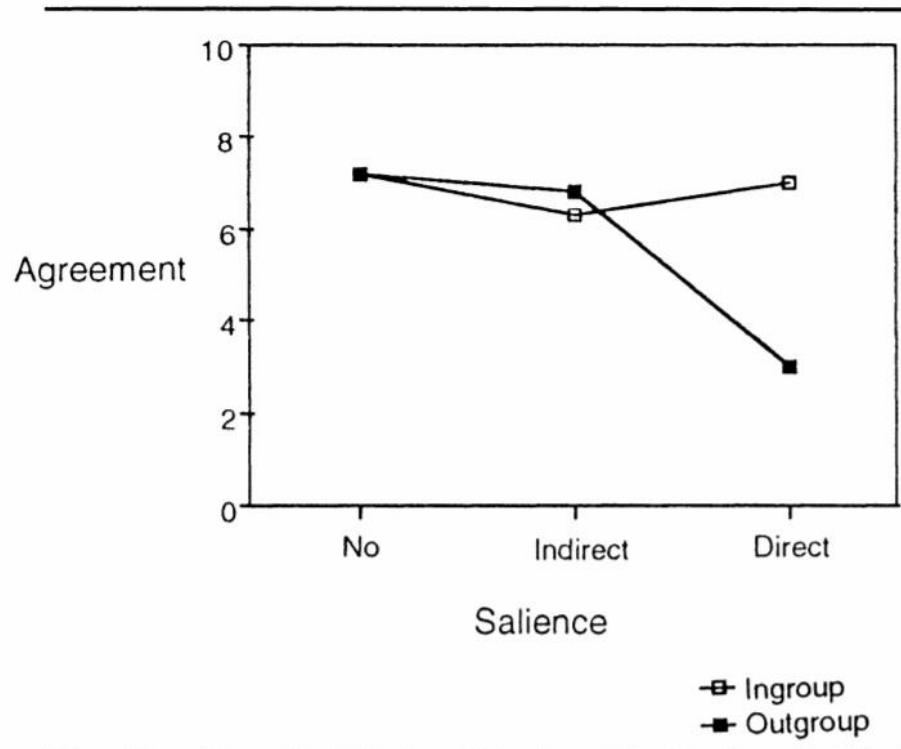
きちんとした話し合いで、当人たちが考えて意思決定するには流暢さは重要である。

■ 他の“親しみ”として

- McGarty, Haslam, Hutchinson, & Turner (1994)
Study 2 SGR
 - 手続き
 1. 脳損傷の社会的リスクに関する5分間のトークを視聴する
 2. **スピーカーの所属の教示**により親しみの操作
 - 半分には交通安全活動のメンバー
 - もう半分にはアルコール撲滅活動のメンバー
 3. 集団の成員性の明確化
 - スピーカーの所属集団にどれほど賛同するか
 - 1人の参加者はアルコール撲滅に賛同したので操作の都合上、分析から除いた

■ 他の“親しみ”として

- McGarty, Haslam, Hutchinson, & Turner (1994)
Study 2 SGR



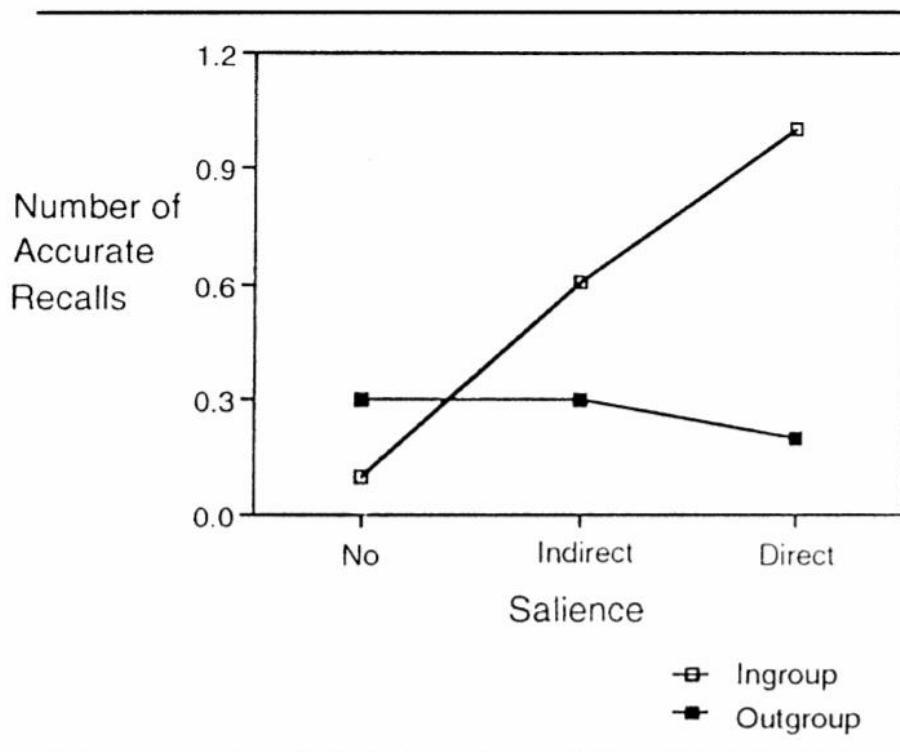
$$F(2, 84) = 7.6, \\ p < .001$$

外集団のスピーカーであることが顕在化すると、賛成する程度が小さくなった

Figure 2: The Effects of Speaker's Group and Salience on Agreement in Experiment 2.

■ 他の“親しみ”として

- McGarty, Haslam, Hutchinson, & Turner (1994)
Study 2 SGR



$$F(2, 84) = 4.7, \\ p < .05$$

内集団のスピーカーであることが顕在化すると、スピーチの内容をより正確に覚えていた

Figure 3: The Effects of Speaker's Group and Salience on the Number of Arguments Accurately Recalled in Experiment 2.

■ コミュニケーションの例

- 福島の人とのコミュニケーション
 - 2017年から福島県いわき市の復興公営住宅と災害公営住宅で住民の方々とのコミュニケーションを継続中
 - 住民を対象とした調査や、その結果のフィードバックを行った。

■ コミュニケーションの例

- 福島の人とのコミュニケーション

Kazuki Yoshida

- * いわき市で保健師
- * 子育て支援の研究や、カンボジアで
コミュニティヘルスの研究活動

場面に応じ、柔軟にコミュニケーターが入れ替わることで円滑なコミュニケーションが可能になる

まとめ

コミュニケーションでは、リスク認知にポジティブにもネガティブにもバイアスがかかることに注意が必要

コミュニケーションの中では、親しみやすさや流暢さをうまく使いこなすことが大切

相手にとっての“親しみやすさ”について考え、表現やコミュニケーターを工夫する

ご清聴ありがとうございました

小林 智之
日本学術振興会 / 福島県立医科大学

E-mail: tomokoba@fmu.ac.jp